

# 佐渡米通信 こめ〜る 24.8

## アイセバ2012が開催されました！

佐渡市で「生物の多様性を育む農業国際会議(通称:ICEBA)」が7月16日~18日の3日間開かれました。国内では兵庫県豊岡市に次ぎ2回目の開催地となり日本と中国、韓国の三カ国から総勢400人以上が参加しました。全体会議では一人一人レシーバーが手渡され、同時通訳を行いながら持続可能な農業のやり方と豊かな地域づくりについて提案と意見交換を行いました。17日には中国と韓国のメンバーも参加し、「生きもの調査」「農業技術研修」「持続可能な農業と農村社会」といった3コースの現地調査が行われました。実際に無農薬の水田と減農薬の水田で行われた生きもの調査では、いずれも20種類以上の生き物が確認されました。また、参加者からの積極的な質問や報告があり、熱心な議論がされました。期間中、放鳥トキが視察コースで見られ、海外からの参加者も大変喜んでいました。



佐渡のお米や乳製品・米粉のお菓子も販売しました！



## 行谷小学校 生きもの調査

行谷小学校(新穂地区)で生きもの調査が行われました。調査場所は子供たちが普段通る田んぼ、道路沿いの川・近所のビオトープです。天気も良く、沢山の生きものを見ることができ子供たちは大はしゃぎの様子でした。「ミズグモきもちわるい」「どろんこ遊びみたいで楽しい」など率直で素直な意見が聞けました。

## 作柄状況について

7月上旬から中旬までカメムシ対策として、畦畔(あぜ)の除草作業を行っています。お米に針を刺して吸い取って斑点米を作るカメムシ類(ホソハリカメムシ、アカスジカメムシなど)が例年よりも多い発生となることが予想されています。しかし早めの畦畔草刈りで、水田内には入らないようにするため、朝晩の涼しい時間になると、草刈り作業をする農家の姿が多く見られます。



緑の絨毯ができました

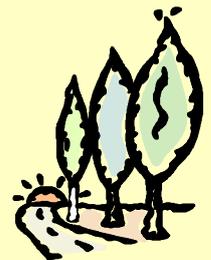
## 今年も「世界一田めになる学校 in 東京大学 2012」開催！

開催日：8月9日(参加費は無料)

今年のテーマは「小さな命、大きな未来」

今年も“夏休み1日だけ”の学校がはじまります。

※親子連れでの参加をお待ちしています。



申し込み・お問い合わせに関しては  
大崎市・佐渡市・豊岡市のHPをご覧ください。

申し込み締め切り：8月2日

編集人：佐渡農業協同組合  
営農部米穀課 渡部・古城(ふるき)  
[beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp](http://beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp)  
発効日：平成24年7月